

カネライトフォームFX [λ : 0.022W/(m・K)] を使用した際の熱貫流率表 (JIS製品記号 : XPS3bd)

■ 軸組工法

【熱貫流率の単位 : W/(m²・K)】

断熱種類 カネライトフォーム FX 厚さ [mm]	部位 工法・仕様 JIS表示 熱抵抗値 [m ² ・K/W]	屋根の熱貫流率 (通気層あり)		天井の熱貫流率	壁の熱貫流率 (通気層あり)		床の熱貫流率		外壁 (基礎壁)
		野地上	垂木間充填	桁上	充填	外張 ※ 1	その他床		
							根太間	大引間	
		—	垂木90mm	—	柱105mm	—	根太60mm	大引105mm	—
45	2.0	0.459	0.647	0.459	0.660	0.450	0.644	0.592	0.465
50	2.3	0.403	0.581	0.403	0.596	0.397	0.587	0.536	0.408
55	2.5	0.373	0.540	0.373	0.556	0.368	0.549	0.501	0.377
60	2.7	0.347	0.504	0.347	0.520	0.342	0.517	0.471	0.351
65	3.0	0.314	0.464	0.314	0.481	0.311	—	0.436	0.317
70	3.2	0.296	0.438	0.296	0.454	0.292	—	0.413	0.299
75	3.4	0.279	0.414	0.279	0.430	0.276	—	0.392	0.282
80	3.6	0.265	0.393	0.265	0.409	0.262	—	0.373	0.267
85	3.9	0.245	0.368	0.245	0.385	0.243	—	0.351	0.247
90	4.1	0.234	0.351	0.234	0.367	0.231	—	0.336	0.235
95	4.3	0.223	—	0.223	0.352	0.221	—	0.322	0.225
100	4.5	0.214	—	0.214	0.337	0.212	—	0.309	0.215
105(50+55) ※ 3	4.8	0.201	—	0.201	0.321	※ 2	—	0.294	0.202
115(50+65) ※ 3	5.3	0.182	—	0.182	—	※ 2	—	—	0.183
130(55+75) ※ 3	5.9	0.164	—	0.164	—	※ 2	—	—	0.165
150(75+75) ※ 3	6.8	0.143	—	0.143	—	※ 2	—	—	0.144

■ 別表 : 壁の付加断熱工法

充填断熱材に繊維系を使用 + 外張り断熱材にカネライトフォームFX を使用した場合の熱貫流率

断熱種類 カネライトフォーム FX 厚さ [mm]	部位 工法・仕様 JIS表示 熱抵抗値 [m ² ・K/W]	壁の熱貫流率			
		付加断熱 [※] のときの外張			
		充填部 断熱	柱105mm R値2.8	充填部 断熱	柱105mm R値2.6
		ロックウール・グラスウール		セルローズファイバー・インシュレーションファイバー	
20	0.9	0.297		0.308	
25	1.1	0.279		0.289	
30	1.4	0.256		0.265	
35	1.6	0.243		0.251	
40	1.8	0.231		0.238	
45	2.0	0.220		0.227	
50	2.3	0.206		0.212	
55	2.5	0.198		0.203	
60	2.7	0.190		0.195	
65	3.0	0.179		0.184	
70	3.2	0.173		0.177	
75	3.4	0.167		0.171	
80	3.6	0.162		0.165	
85	3.9	0.154		0.158	
90	4.1	0.149		0.153	
95	4.3	0.145		0.148	
100	4.5	0.141		0.144	

※ 1 外張断熱又は付加断熱の場合で、下地材などにより断熱材を貫通する熱橋部を有する場合は、断熱材の熱抵抗値に0.9を乗じて計算してください。(本計算では0.9を乗じてません)

※ 2 木造住宅 構造別耐火認定における押出法ポリスチレンフォーム断熱材厚さの範囲が20mm~90mm (一部100mm) のため、厚さは100mmまでとしています。
木造住宅 構造別耐火認定範囲外 (建築基準法22条指定区域外等) で厚さ100mmを超える製品を使用する場合はお問い合わせください。

※ 3 厚さ105mm以上は、規格厚さ100mm以下での組み合わせとなります。掲載した組み合わせ以外の場合はお問い合わせください。